

Cariot バージョン2.34 リリースノート

1. インストール方法

2. リリース内容

お客様からのご要望対応

① 走行データ：表示される拠点を「到着した拠点のみ」に絞り込む条件追加

改善

② 走行データ：グラフ表示改善

改善

③ 走行データ：走行軌跡の表示改善

お客様からのご要望対応

④ エリア：到着予測を次の目的地以外にも対応

改善

⑤ エリアほか地図全般：表示するランドマークの追加

新機能

⑥ スマホアプリ：メッセージ機能追加

お客様からのご要望対応

⑦ スマホアプリ：走行ステータスごとに集計できるように改善

改善

⑧ デバイス：最新データ受信時刻を追加

お客様からのご要望対応

⑨ 運行予定：予定作成時に、予定名のデフォルト値を設定するオプション追加

改善

⑩ ルート：取引先から拠点を作成するUIの改善

1. インストール方法

以下のURLから、アップグレードを行ってください。
バージョン2.34

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t0K00000179Uh>

※ バージョン2.21以前からのアップグレードは、まずバージョン2.21.1にアップグレードし、その後上記のバージョンにアップグレードしてください。

バージョン2.21.1

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t0K000001VJDI>

※ Sandboxへのインストールはlogin.salesforce.comをtest.salesforce.comに読み替えてください

※ バージョン2.15より前からのアップグレードで処理が失敗する場合、パッケージ2.15のリリースノートに記載のある手順をお試しください。

2. ①走行データ： 表示される拠点を「到着した拠点のみ」に絞り込む条件追加

お客様からのご要望対応

■ お客様からのご要望

多くの配送先をCariotに拠点として登録しているが、走行データには実際に配送した配送先だけ表示したい。たまたま近くを通過した配送先は非表示にしてほしい。

■ 対応内容

最低滞在時間の条件設定をできるようにしました。

表示設定

地図
 航空写真
 地形

位置情報補正

拠点表示

到着した拠点のみ表示
 すべての滞在記録を表示する
 0 30

拠点の位置をアイコンで表示

拠点名を表示

密集した拠点は ツマミを左右にスライドして条件を設定

6分間留まっていた拠点の動作イメージ

到着した拠点のみ表示
 6分以上滞在したものだけ表示する
 0 30



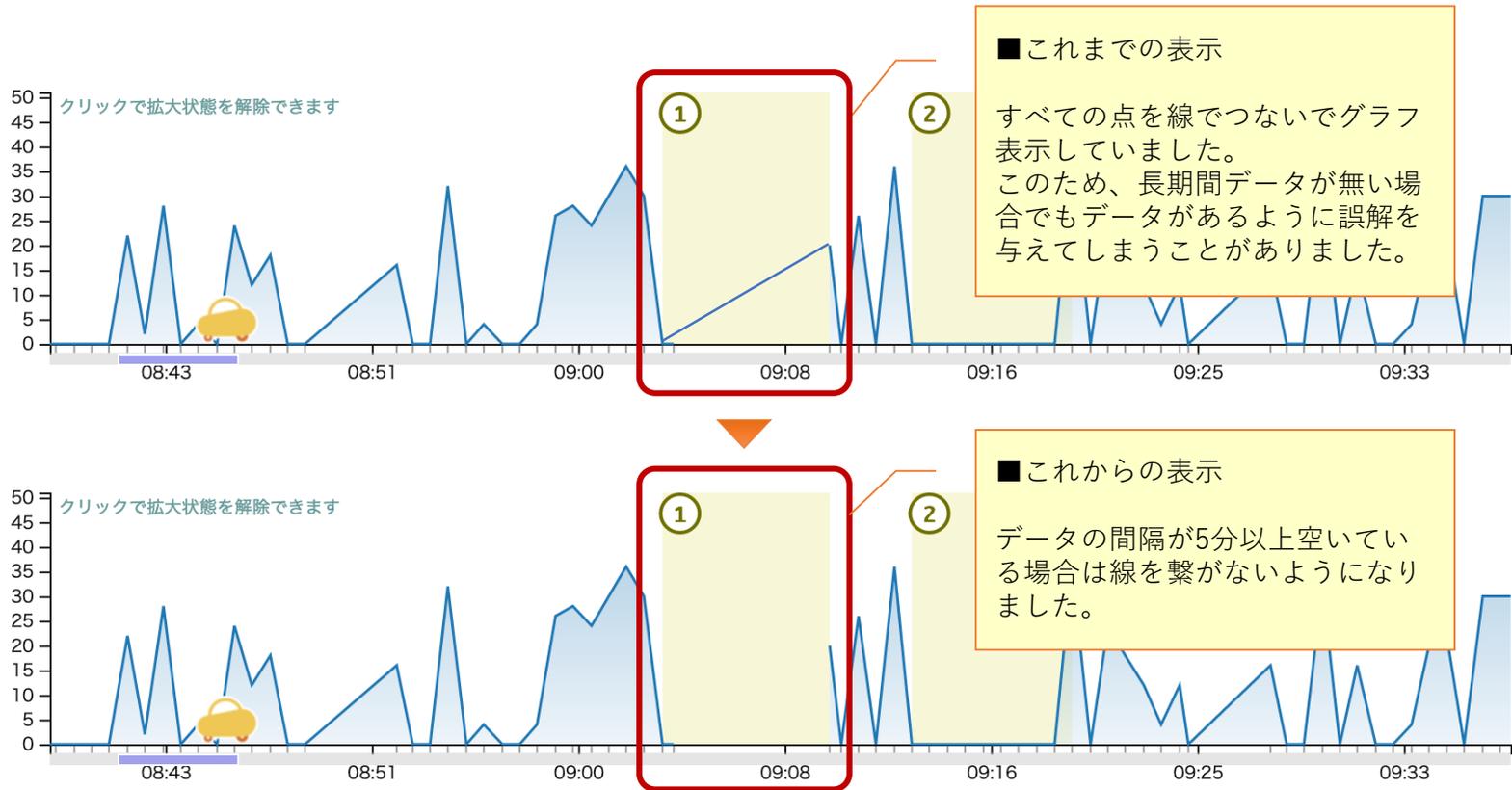
到着した拠点のみ表示
 7分以上滞在したものだけ表示する
 0 30



条件をはずれる则表示されなくなります

2. ②走行データ：グラフ表示改善

改善 データが途切れた区間のグラフ表示を見直し、グラフの線を繋がないようにしました。



2. ③走行データ：走行軌跡の表示改善

改善

- 走行データの奇跡に白の縁取りをつけて視認性を向上しました。
- 車両オブジェクトで設定されている車両アイコンを使用するようになりました。
- 表示のパフォーマンスを向上しました。



2. ④エリア：到着予測を次の目的地以外にも対応



お客様からのご要望対応

■ お客様からのご要望

複数の場所で荷物を集荷して戻ってくる車両について、最終的な戻り予定時間を知りたい。

■ 対応内容

次の目的地以外の拠点への到着予測時間を表示できるようになりました

エリア 京橋

マップ 稼働率レポート

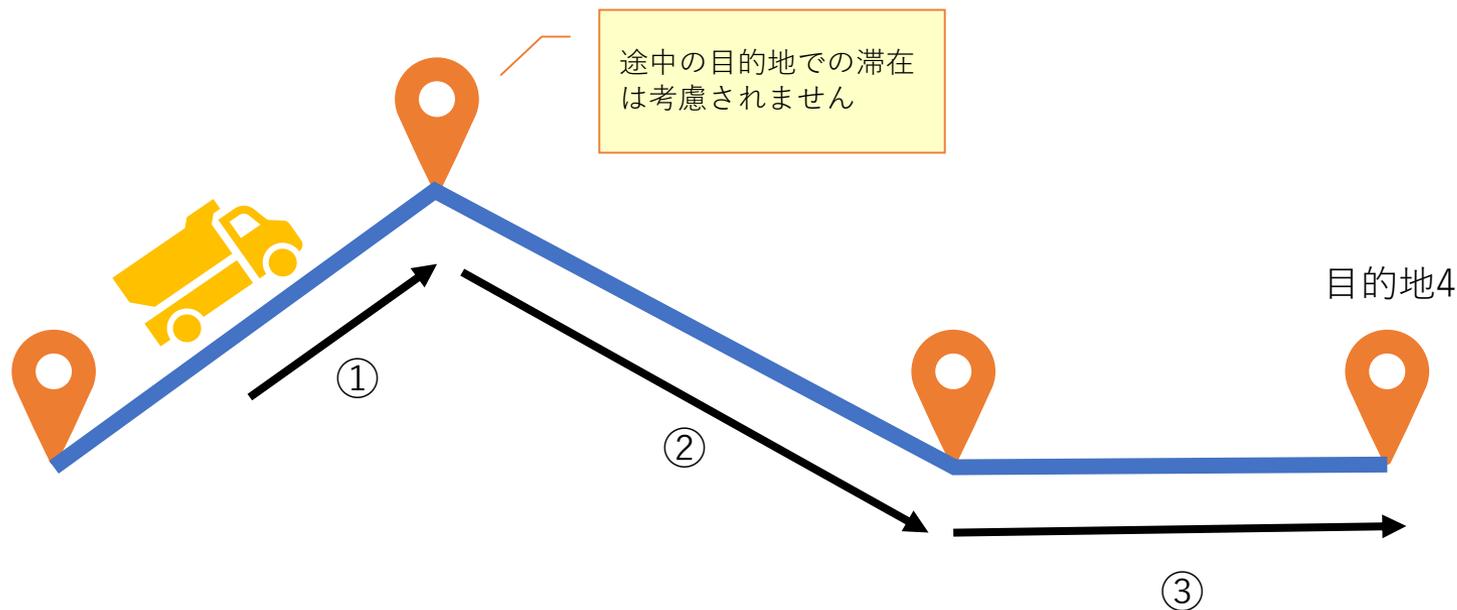
車両 6 表示設定

ルート54

車両	ドライバー名	km/h	出発地	到着地	到着予定
atrack-30001の車両	社員1	-	株式会社...	新橋駅	15:55:34
atrack-30002の車両	-	-	虎ノ門ヒ...	-	-
atrack-30003の車両	-	-	-	-	-
atrack-30004の車両	-	-	-	-	-
atrack-30005の車両	-	-	-	-	-
atrack-30006の車両	-	-	-	-	-

選んだ目的地への予測時間に切り替わります。

次の目的値以外の到着予測では途中にある目的地での滞在時間は考慮されません。



目的地 4 への予測時間 = ① + ② + ③

2. ⑤エリアほか地図全般： 表示するランドマークの追加

改善 地図上に表示されるランドマークをより多く表示するように変更しました

変更前



変更後



2. ⑥スマホアプリ：メッセージ機能追加

新機能

Cariot管理者とスマホアプリ利用者が、メッセージのやり取りをできるようになりました。

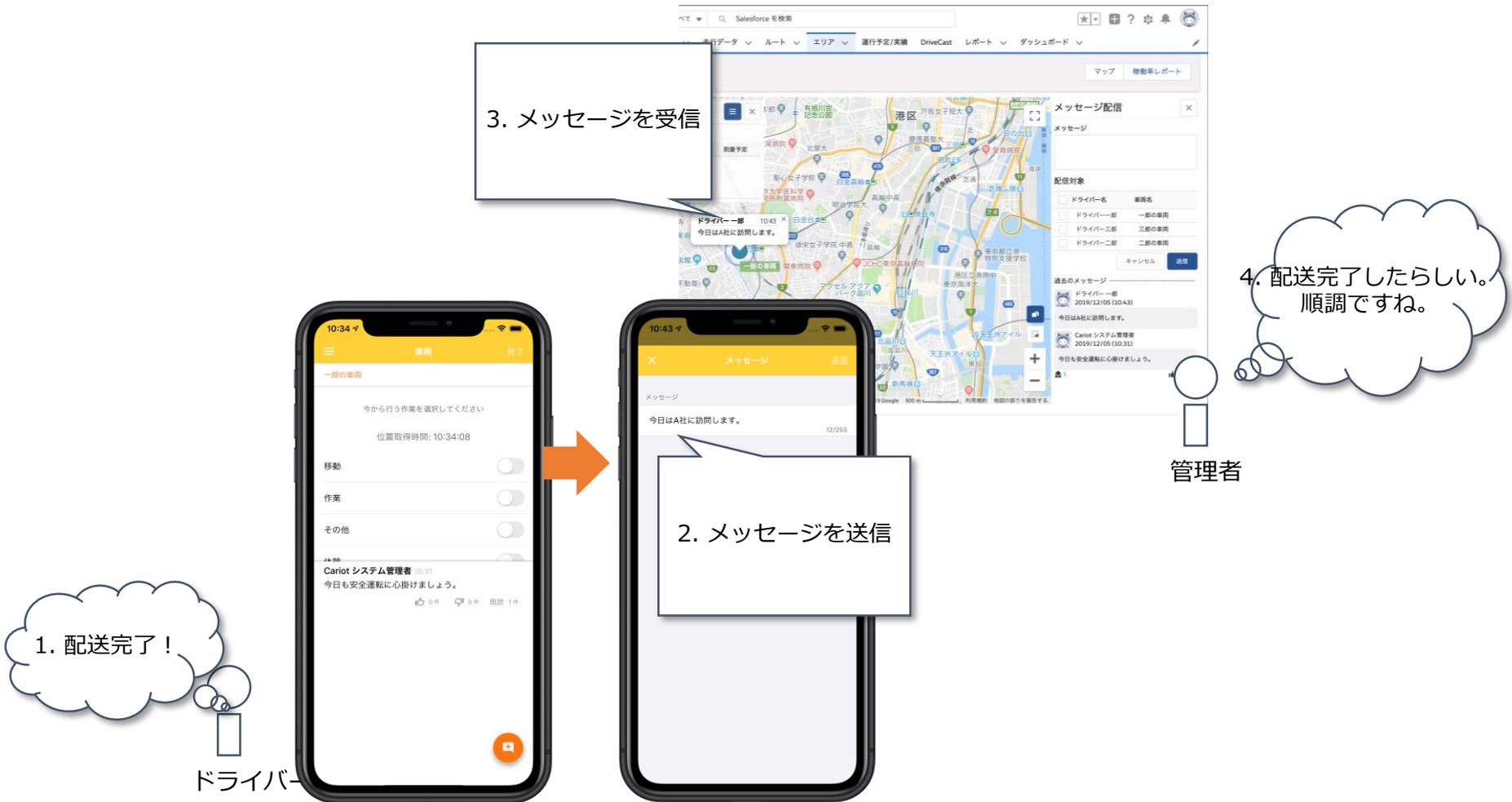
ご活用方法例：緊急の訪問・配送が必要になったときの担当者探し

エリア画面



2. ⑥スマホアプリ：メッセージ機能追加（つづき）

ご利用方法例：業務完了の報告



2. ⑦スマホアプリ： 走行ステータスごとに集計できるように改善

お客様からのご要望対応

■ お客様からのご要望

1日の運送回数や、空荷での移動回数を集計したい。

■ 対応内容

スマホアプリでドライバーが「輸送」「空荷」「作業」等のステータスを入力すると、その回数をレポートで表示できるようにしました。

業務開始



業務終了



1件1件がレコードとして記録され、レポートやダッシュボードでの集計・分析もできます

2. ⑧デバイス：最新データ受信時刻を追加

改善

車両ステータスに「最新データ受信時刻」項目が追加されました。

関連

活動

詳細

ステータス

アーカイブダウンロード

ステータス

車両ステータス名	20191205-010	GPS時刻	2019/12/06 4:37
現在位置 (Latitude)	35.829138000000000	現在位置 (Longitude)	139.648225000000000
エンジン回転数	0.000000000000	エンジン負荷	0.000000000000
エンジン警告灯	<input type="checkbox"/>	エンジン冷却水温度	0.000000000000
燃料残量レベル	0.000000000000	燃料使用量	0.000000000000
直近最高速度	0.090000000000000	直近平均速度	0.090000000000000
アクセル踏み込み	0.000000000000000	累積走行距離	0.000000000000
主電源電圧	0.000000000000	バックアップバッテ リー電圧	0.00
加速度	973.498844375277		00000000
加速度(y)	0.000000000000		00000000
最新データ受信時刻	2019/12/06 4:38		

最後にサーバーでデータを受信した時刻がいつなのかを確認できます

2. ⑨運行予定：

予定作成時に、予定名のデフォルト値を設定するオプション追加

お客様からのご要望対応

■ お客様からのご要望

ドライバーに車の予約を徹底するために、できるだけ予約時の入力項目を少なくしたい。

■ 対応内容

予約時に運行予定名のデフォルト値を設定するオプションを追加し、「顧客訪問」「アポイント」などのデフォルト値を登録できるようになりました。

■ 設定方法

カスタムメタデータに設定を追加する。

- ・ 対象
Cariotアプリケーション設定
- ・ 追加する設定
DeveloperName:
VehicleRsvDefaultName
値：
運行予定名に表示したい文字列

デフォルト値が設定可能になりました

運行予定名 *

開始時刻 * 2019/12/25 17:00 [2019/12/25 19:14]

終了時刻 * 2019/12/25 18:00 [2019/12/25 19:14]

車両 * 🔍

ドライバー 🔍

利用内容詳細

運転以外で利用する（メンテナンスなど）

2. ⑩ルート：取引先から拠点を作成するUIの改善 **Cariot**

改善

「取引先から拠点を作成」時の「すべて選択」チェックボックス押下時の挙動を改善しました。

- 対応前：一覧の絞り込みの状況に関わらず、すべてが選択されていました
- 対応後：一覧で絞り込まれている結果に対して、すべて選択するようになりました

絞り込みの状態を踏まえた直感的な挙動になるように修正しました

